

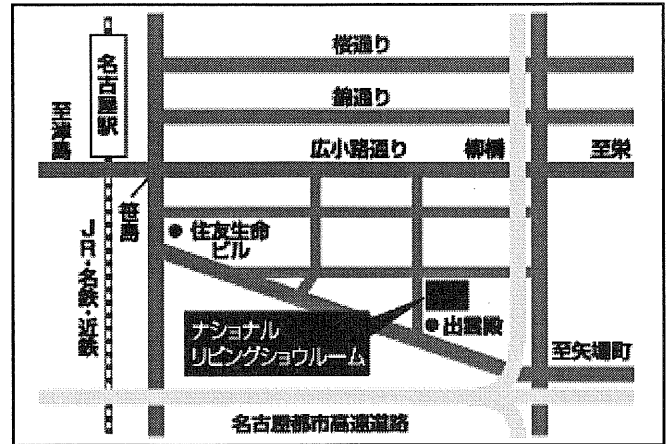
伝統木構造の会東海事務局 企画

伝統木構造の構造設計研修

(趣旨・目的) 筋交い、金物を使わない伝統構法は建築基準法の木造の仕様規定外であったが、平成12年の法改正で性能規定化が図られたことにより、「限界耐力計算」で構造の安全性が照明できれば建築確認が下りるようになった。本研修は「限界耐力計算」とそれに関連する計算方法の講習会を行い、伝統構法の保存・復元・継承を担う技術者の養成を行うものである。

連続講座

- 第1回目 平成19年11月17日(土)
「限界耐力計算法の復習」
過去2年行った講習会のおさらい
- 第2回目 平成19年12月8日(土)
「法改正後の木構造計算の流れ」
6月20日以降の確認申請の流れについて。
- 第3回目 平成20年1月26日(土)
「限界耐力計算と許容応力計算の関係①」
限界耐力計算法の不足部分を許容応力度計算法で補えるか。
- 第4回目 平成20年2月23日(土)
「限界耐力計算と許容応力計算の関係②」
- 第5回目 平成20年3月22日(土)
「まとめ・実力試験」
5回の講習のまとめと講習生の学習のレベルの確認。



■ 会場案内図

■ 時間 午後1:30~4:30 (受付開始は午後1:00からです。各回とも同じです。)

■ 講師 山田憲明 (株)増田建築構造事務所

■ 監修 増田一真 伝統木構造の会 会長

■ 定員 50名

■ 会費 ¥15,000 会員・学生

¥20,000 非会員

■ 場所 松下電工(株)名駅ビル イベントホール
〒450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号
TEL:052-581-5064/FAX:052-562-0628

■ 問合せ 東海林建築設計事務所内 (伝統木構造の会東海事務局)
TEL:052-839-0031/FAX:052-835-2330 E-Mail:info@tokairin.jp

■ 申込み 下記の申込み用紙を事務局まで FAX・メールでお申し込み下さい。

伝統木構造の会東海事務局 企画 伝統木構造の構造設計研修 申込書

貴社名 ご芳名 人数

御連絡先 〒

TEL FAX

E-mail

木造の構造計算-基礎編

第1回 木造の構造計算概論

- ・ 5つの木造構造計算法の概要と位置づけ

軸組計算法

許容応力度計算法

保有水平耐力計算法

限界耐力計算法

エネルギーの釣り合いに基づく計算(エネルギー法)

(時刻歴応答計算は除く)

- ・ 構造計算の流れ(荷重計算、剛性計算、応力計算、断面計算)

第2回 各構造計算法の解説 -限界耐力計算法(1)

(第2〜4回に渡って、4本柱平屋程度の簡単な建物を例にして、前回セミナーでは扱えなかった荷重計算から部材、接合部の計算まで解説予定)

- ・ 荷重計算、剛性計算、応力計算、断面計算
- ・ 常時荷重を受ける梁の断面寸法の決め方
- ・ 荷重種類(固定、積載、地震、風、積雪)ごとに解説
- ・ 追加検討すべき項目(接合部、柱の引抜き、小壁付き柱の折損等)

第3回 各構造計算法の解説 -限界耐力計算法(2)

第4回 各構造計算法の解説 -限界耐力計算法(3)、許容応力度、保有水平耐力計算法

- ・ 許容応力度計算法、保有水平耐力計算法の解説と限界耐力計算法との関係

第5回 各構造計算法の解説 -軸組計算法、エネルギー法

- ・ 軸組計算法の意味づけ
- ・ エネルギー法の概説(文化庁の文化財診断指針等を用いて)
- ・ まとめ